



アグリワークポイント AGRIWORKPOINT

摘果と日焼け

果樹林産センター 青島



着果管理

生理落果が終了し、樹毎の着果量が把握できるところになってきました。着果が多すぎると小玉傾向になり、翌年の花付きが悪くなってしまう。隔年結果は正のためにも、適正着果量になるように摘果を実施しましょう。最終的な適正葉果比率を下記に示します。しかし、この時期では優先的に摘果する果実の判断は難しいので、粗摘果程度に済ませ、適正着果量を確保するように心掛けましょう。また、青島温州は早期摘果により大玉果が多く発生してしまう心配があるので、8月下旬以降の後期摘果を重点的に行いましょう。

日焼け対策

梅雨が明けると、果実は強い日差しにさらされます。昨年は夏期の高温・乾燥により管内の極早生温州を中心に大きな被害が出ました。被害を受けた果実の油胞は変色し、表面は固くなります。南向きや西日が当たる面に被害が多く見られます。対策としては陽光面の摘果やサントの施用、炭酸カルシウム資材などの散布があります。

病害虫防除

黒点病の防除について近年は線状降水帯の発生に伴い、1日で100mm以上の雨が降る場合があります。園地の降雨量に注意し、降雨量が200mmを越した場合は防除を実施しましょう。またまとまった雨が予想される場合はアビオンEといった固着性展着剤も活用しましょう。

対象病害虫	薬剤名	倍率	適正使用基準
黒点病	ペンコゼブ水和剤	500倍	30日 - 4回
チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル	4,000倍	前日 - 2回
ミカンサビダニ			

品種	葉果比
早生温州	25枚
普通温州	30~35枚